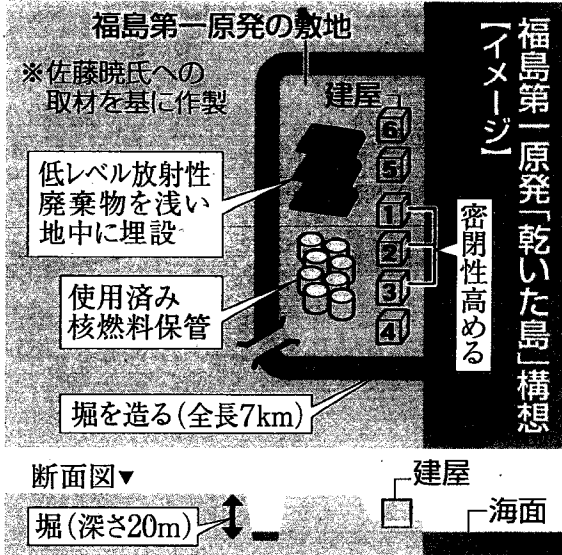


福島第一 廃炉「乾いた島」構想

東京電力福島第一原発の周囲に堀を造って外から地下水などが流入しない「乾いた島」にし、溶融核燃料(デブリ)の取り出しを五十〜百年程度先送りする構想を原子力コンサルタントの佐藤暁氏(たけあき)がまとめた。国や東電は、廃炉を二〇四一〜五一年に終える目標を維持するが、佐藤氏は技術的にも難しく見直しが必要だと強調する。



佐藤氏は原発メーカーの米ゼネラル・エレクトロニクス(GE)の元原発技術者。第一原発では、デブリの冷却に使った水と流入した地下水などが混ざり汚染水が増えている。佐藤氏の案では、原発を囲むように長さ七キロにわたり、海面より下まで深さ二十メートルの堀を造る。山側からの地下水の流れが遮断され、原発敷地内の地下水水位が海面まで下がります。

佐藤氏は「第一原発の跡地を何も無い緑地にするのは非常に困難だ」と話す。この構想の原型を国の関連組織に説明したが、採用されていないという。

デブリ除去先送り 専門家提案

藤氏はより高度なロボット技術が開発されるまで先送りを提案。その間は原子炉建屋外面の密閉性を高め、放射性物質が環境に拡散しないようにする。

また廃炉に伴い百五十万ト以上のがれきとスクラップが発生すると推定。線量が低いものは現地で浅い地中に埋設する方法を選択肢に挙げる。線量が比較的高い廃棄物は既存の建屋を保管場所利用。使用済み燃料は空冷式の設備で敷地内に保管する。

佐藤氏は「第一原発の跡地を何も無い緑地にするのは非常に困難だ」と話す。この構想の原型を国の関連組織に説明したが、採用されていないという。

世界 相次ぐ

韓国で芸能人らから過去にいじめや暴力を受けたという告発が相次いでいる。加害者とされた俳優らが過ちを認めて活動を休止する一方、告発が虚偽だったケースも。ドラマの撮り直しやCM中止など影響は業界全体に広がり、スポーツ界に続く芸能人の暴力問題が収束する兆しはない。(ソウル・中村彰宏)

鳥の告発も

制作会社は所属事務所を相手取って三十億ウォン(約二億九千万円)の損害賠償を求める訴えを起こした。

韓国芸能マネジメント協会など四団体は「芸能人になる前の行為としても、事実なら

与那国

中国艦の

防衛省統合

日、中国海軍

艦一隻が同日

の沖縄県・与那

の間を北上し、

入ったと発表

ト艦は沖縄

の間を南下し

り、その後、

へ進んだ。領海

隊の艦艇、航

な行動はなか

統合幕僚監

による与那国

過を公表する

している。同

島周辺を含め

国の活動がさ

っていること

ロシア海軍の

艦艇計二隻が

以降、対馬海

シナ海に向か

したことも公

シアそれぞれの

く分析してい